

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
廃止措置研究・人材育成等強化プログラム
事後評価総合所見**

| <p>研究課題名：廃止措置工学高度人材育成と基盤研究の深化 研究代表者（研究機関名）：小原 徹（東京工業大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：高木 直行（東京都市大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：新井 剛（芝浦工業大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：浅沼 徳子（東海大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：川嶋 健嗣（東京医科歯科大学） 研究期間及び研究費：平成26年度～平成30年度（5年計画） 408百万円</p> | |
|---|--|
| 項目 | 要 約 |
| 1. 研究の概要 | <p>東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置に必要な不可欠な最新技術と原子核工学の専門知識を有し、デブリ材料工学、デブリ化学及びシビアアクシデント後の遠隔操作技術の体験を通して深く理解した人材を継続的に育成するため、東京工業大学に廃止措置工学を専門とするカリキュラムを設置する。同時にこれまでに培われてきた東京工業大学及び連携機関研究者の知見に立脚し、廃止措置上重要な課題である難分析核種の分析、汚染材木等の除染法の開発、汚染土壌・焼却灰処理技術、Cs、Sr同時回収固化技術、シビアアクシデント後の遠隔計測技術、デブリ取出し時の再臨界防止技術及びメルトダウン炉心の臨界事故解析とその対策技術に関する基盤的研究を推進し、廃止措置に反映することにより、東京電力福島第一原子力発電所の事故収束に貢献することを目標として、以下の研究開発を行う。</p> <p>人材育成と研究の推進に当たっては、廃止措置機関、電力企業、関連企業と十分な連携を維持しながら進め、これらの企業等が学生のキャリアパスとなるように指導する。</p> <p>1) 人材育成活動 2) 研究活動</p> |
| 2. 総合評価 | <p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、核燃料やR I を取り扱う実習を行えることは、重要な機会であると評価できる。事業終了後も継続的に実施されることに期待する。 ・人材育成の総合的なカリキュラムを完成させたことは高く評価できる。 <p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p> |